

第2期国分寺市公民館運営審議会 令和元年度第19回定例会 要点記録

日 時 令和元年6月3日(月) 午後3時～午後5時

場 所 本多公民館 講座室

出席者

■委員 佐藤(一)委員長・田中(英)副委員長・木下委員・高塚委員・萩原委員・戸澤委員・大内委員・藤原委員(欠席3名)

■職員 前田公民館課長兼本多公民館長・増本恋ヶ窪公民館長・久保光公民館長・豊泉もとまち公民館長・本望並木公民館長・野中本多公民館事業係長・木場本多公民館事業係・山下本多公民館事業係

■傍聴者 1名

1 連絡事項

(1) 配布資料確認

(2) 第18回定例会要点記録確認

事務局：17回と本日の分は、後日郵送させていただきます。

委員長：では何かあれば事務局まで。

2 報告事項

(1) 国分寺市教育委員会令和元年第5回定例会について

事務局：資料に基づき説明

委員：恋ヶ窪公民館のエレベーターについて話は出ていないのか。

事務局：現在のところ何も出ていない。

委員：予算関係の動きはないのか。

事務局：特にない。現在内部の情報収集や検討をしているところであり、課としてまとめ次第恋ヶ窪の利用者へ示して意見を聞くことを考えている。

委員：しっかりやってほしい。

委員長：最近公共施設の解体新築より、延命化を図る考え方が増えてきている。当然使用しながらという形になるので利用者に不便が生じるが。今期提案にもつながる「長寿化」ということで、エレベーターの件もぜひ尽力してほしい。

3 協議事項

(1) 諮問「国分寺のまちを学び共に創りだす公民館活動の今後について」

委員長：各委員から修正いただいた原稿を事務局とギリギリまで作業して出上がったものを配布した。事務局から簡単に説明をお願いします。

事務局：前回の議論と変更点を説明します。まず章立ての部分ですが、IV章

で閉じて、各館の報告をするという話でしたが、最終的にはこのようになりました。あとは委員の方からの修正原稿をまとめさせていただいています。最後に諮問文と諮問後 13 回の定例会の内容を記さしていただきました。

委員長：前回から手直しをお願いした部分をととても明確に修正していただきました。ありがとうございました。

現在お配りしている答申案を答申として承認したいと思うがどうか。

委員：P21「国分寺かるた」について、注釈を前回委員長から指摘されて直したが反映されていない。

委員長：私の方でその上の文章の注釈にさせてもらった。

委員：了解

委員長：コミュニティスクールという言葉が削除されているが、いいのか

委員：問題ない。

委員長：では承認ということによろしいか。

では、承認ということで館長に提出する。

事務局：ありがとうございました。しっかり実現してまいります。

委員長：ここにある答申作成のための今期 13 回の会議は驚くべき数字、いまほとんどの市町村でまず公運審をなくすという動きが多い。答申にしても事務局が書いたものを形式的に 2～3 回委員の意見を聞く程度。諮問答申というのが消えつつある中で、国分寺市は市民委員を中心にこれだけのものを文章としてまとめる貴重な体験であり、それを持って国分寺市の公民館が発展していけると思う。館長からいま、しっかりやるという言葉をもらえた。一気にできるわけではないが、しっかり実現して行ってほしい。無事提出できたことに委員各位、事務局に感謝する。ではこれで第 2 期国分寺市公民館運営審議会を閉会する。

○閉会後茶話会を開催した。

委員から

- ・市民の雑談を育てて、大きくしていくのは公民館と職員の役割
- ・12万人の市に5館あるにもかかわらず、さまざまなコミュニティの中で、公民館の話題はなかなか出てこない。未利用者にどう働きかけていくかは職員
の力、頑張ってもらいたい。
- ・子どもを呼びこまなければ利用者は増えないと常々思っていたことが今回答
申に盛り込まれてよかった。
- ・公運審の在り方として、本多の館長しかしゃべらないのが気になっている。
5館長は対等であってほしい。
- ・公運審は答申の作成をするだけなのか。各館の状況を学び、課題を共有する
ことでより良いアイデアが出るかもしれない。そういったことをもう少し
考えてほしい。情報交換が必要。
- ・参加してこんなに各委員が真剣に取り組んでいることに驚いた。
- ・公民館だけでなく、福祉の分野などでも同じような内容が課題になっている。
連携を進めてほしい。
- ・子どもたちを支えていただく地域の方がこんなにいるということに驚いた。
学校での学びが地域で継続していけるようになってほしい。
- ・いろいろ勉強させていただいた。新しい公運審の担い手のために、ぜひ公運
審のいいところをいろいろ広めてほしい。
- ・市民が声を上げ公民館を作るという姿勢。実のある答申がまとまったと思う。
全国的に誇れる国分寺市の公民館、公運審だと思う。
- ・事務局の市民の声を受け止めるという姿勢を持ち続けてほしい。

職員から

- ・3回の議論しか参加していないが、本当に活発な議論だったし、読んでいて、
本当に重たいものをもたったと思っている。皆さんの努力を無駄にしないよ
う、各公民館で実現に向け頑張っていきたい。
- ・公運審と一緒に勉強させていただいた。利用者の熱心さについて行って公民
館をよくしていきたい。
- ・現在の社会教育において「学校との連携」の比重はとても重いと感じている。
- ・「魅力のある講座」の実施を心がけてきた。いつまでいられるかわからない
が、人のつながりを残すことを考えていきたい。
- ・国分寺市の公運審は昔から委員が文章を書くことで答申づくりをやってきた。
書いて、議論して、書くということを繰り返していくことで、どんどん良
くなっていく。